

環状七号線地下広域調節池（石神井川区間）工事家屋調査説明会
〔議事要旨〕

1. 開催概要

日時： 令和4年11月25日（金） 午後 2時00分～午後 4時00分
26日（土） 午前10時00分～午前12時00分
場所： 環状七号線地下広域調節池（石神井川区間）工事中間事務所1階打合せ室

2. 説明内容

オープンハウス形式で説明用パネルを使用して個別説明

3. 主なご質問・ご意見と都の回答（要旨）

質問1 当初から家屋調査をする予定であったか？

回答1 当初は予定していなかったが、他のシールド工事の陥没事故を踏まえて方針変更し、万一来に備え、家屋調査を実施することにした。

質問2 集合住宅の場合、外周りの共用部分と各部屋があるが、調査はどのように行うのか？

回答2 まず、管理会社に連絡し、調査の段取りを相談させていただく。多くの場合は、共用部分は管理会社に立ち会っていただき、各部屋は個別に調査をお願いしている。

質問3 集合住宅で部屋を賃貸で貸している場合、借家人が部屋の中を見られたくないなどで調査を断った場合はどうなるのか？

回答3 オーナーと借家人とで話し合っけて決めていただく。全部調査できなくても、調査可能な範囲を要望していただければ、それに従って調査を行う。

質問4 集合住宅の場合、外周りで不具合があれば、各部屋にも影響があるはずであるから、各部屋の調査は不要ではないか？

回答4 外周りで不具合があるからといって、各部屋に必ず影響が出るとは限らないため、各部屋についても調査に協力いただきたい。

質問5 掘進後、地盤が安定するのに半年かかるとのことだが、その後に影響が出ることはないか？

回答5 余裕をもって半年にしているため、それ以降に影響が出ることはないと考えている。

質問6 東日本大震災の時も既存の調節池について影響はなかったか？

回答6 問題ありませんでした。

質問7 近くに大江戸線があるが、影響はないのか？大江戸線との離隔はどの程度あるのか？

回答7 大江戸線とは事前に影響がないことを確認済みである。なお、本調節池から大江戸線までの離隔は約120mある。

質問8 工事が遅れているが、その理由は？

回答8 発進立坑から発進するときに、立坑の鉄筋コンクリート壁を直接シールドマシンで削るという世界初の方法であったために、慎重に作業を行い、設備を補修しながら進めたために時間がかかってしまった。工期は令和5年3月の予定であったが、令和7年12月まで延伸している。

質問9 Jアラートが発令されたときにシェルターとして調節池のなかを使えるのではないか？

回答9 調節池は洪水を貯留する施設で、いつ取水するかわからないため、シェルターとして人が長時間滞在するのは難しい。